

Adobe® Illustrator®
Adobe Photoshop®

タイクーングラフィックス

**Adobe Illustratorはじぶんの手の一部
クリエイターの感性をそのまま自由に表現してくれる**



TYCOON GRAPHICS

アートディレクター／グラフィックデザイナー

・1991年、宮師雄一、鈴木直之の二人によりタイクーングラフィックスを設立。テイトウフ、安室奈美恵等のCDジャケットデザイン及びヴィジュアルプロモーションに携わる。また、MotionElement等ファッションブランドのグラフィックデザインや企業広告、ロゴデザイン、エディトリアル、パッケージデザインの分野でも活動中。著書にG-MEN（リトルモア）、A&D SCAN タイクーングラフィックスの仕事と周辺（六耀社）がある。受賞歴は第78回ニューヨークADC「BIG MAGAZINE」にて金賞、「BOYCOTT MOVIE」にて銀賞。第76-79回ニューヨークADC賞受賞。毎日デザイン賞部門賞他。

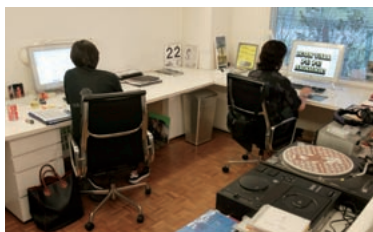
<http://www.tycoon.jp/>



宮師雄一氏



鈴木直之氏



作業デスクの横にはD Jブースがあり、常に音楽がある空間で制作が行われている

グラフィックデザイナーの日常ツールとして活用され、もはや欠かせない存在になったAdobe Illustrator。しかしIllustratorの使いかたはデザイナー一人ひとりによって異なり、それぞれの独特な使いかたから多様な表現が生み出されている。DTPの黎明期から、抜きでたアートディレクションが注目されてきたタイクーングラフィックスも、そんなIllustratorへの独自のこだわりをみせるデザイン事務所の一つ。数多くの作品を発表しながら、現在もデザイン業界の第一線を走る同社では、Illustratorの存在が、ほかのどの道具よりも手に馴染んだツールになっている。

タイクーングラフィックスと Adobe Illustratorの出会い

「タイクーン自体は91年の11月にスタートしたのですが、そのころはまだカッターマット、ピンセット、スプレーによる手作業のデザインを行っていました。「まわりのデザイナーの友だちの中に、いわゆるマック使いがちらほら増えてきたころでしたね。そう互いに語るの、同社を立ち上げた宮師雄一氏と鈴木直之氏。

「ちょうどi-D Japanという雑誌のアートディレクションをやるようになり、大量のページ編集作業を二人だけでやってたら死ぬな（笑）と思って、必要にかられてMacintosh™とIllustratorを導入したのがはじまりです。」「でも当時はMacintoshも高価で事務所には1台しかなかったため、二人で交代しながら使っていました。

両氏の話では、そのころのIllustratorの使いかたは、デザインの素材となるフォントの作成、文字の立体化、ラインの作成など「イラストを作るのに近い使いかたをしていた」そうだ。

また宮師氏は当時の状況を回想し、まだデータ入稿が一般的ではなかったため、レーザープ

リントした紙を、反射原稿として印刷会社に渡していたこと。そんな使いかたの中から、解像度の粗い表現がかえって面白さを生むことに着目し、ピクトログラフィなどのカラー出力ができるマシンが登場して以降も、わざとカラー原稿をプリントしてから入稿していたとも語る。

じぶんたちの感覚に合った使いかたができる、 それがAdobe Illustratorの素晴らしさ

「同じ作業を手でやっていたら、とてもできなかったと思う。時間が足りないし、仕事の量がいまの半分ぐらいになっているかも。それに、じぶんたちの作業の流れとしては、二人でコラボレーションするときもあれば、それぞれ役目が入れ替わったりもする。担当している仕事に合わせて、各自が得意なマークのデザインとかタイポグラフィを作り、それらをボンとレイアウトに入れることもある。」「Illustratorのおかげで、デザインのシミュレーションの幅が広がりましたね。カラーチップを並べて説明しなくていいし、瞬時にならべてコレ！と選べるスピード感もある。デザイン上のバランス感覚や見た目がいちばんの時間のかけどころなので、そこに集中して時間を使えるようになった。

Illustratorを使いつづけながらバージョンも上げていったが、今でも導入当初と、基本的な使いかたは変わっていないと二人は語る。そこにはソフトウェアに使われるのではなく、じぶんたちのデザイン表現に合った使いかたを選び、追及してきたという背景があるようだ。

「Illustratorを使っているうちに、クオリティをもっと高めようと考えて、解像度の高いものに移っていく人もいる。しかし、じぶんたちはそういったものより、荒れた感じのデザインのほうが好きだった。

「でもIllustratorが操作面で使いや



ずくなってきたところは、ずいぶん助かっていますね。たとえばパスファインダーがアイコンになったときとか、写真が今まで以上に綺麗に見えるようになったとか。バージョンが上がることでどんどん使い勝手がよくなっている」。

Adobe Illustratorは考えたときにすぐ作れて、偶然の産物まで生み出せる「手」

「ページ物の仕事があっても、全部Illustratorでやっています。専用のレイアウトソフトは使い勝手が俯瞰的すぎて、なんか遠い感じがするんですよ。数学的にポンポン入れていくのが感覚的に合わないなと思うし、IllustratorとPhotoshopを使いながら、レイアウトソフトの間を行ったり来たりするのも面倒。それに、やる事が決められてしまっている感じがする」。

「Illustratorなら、見開きの雑誌広告も最初から一枚絵の状態で作業できるし、ページ物も見開き単位で、ひとつずつファイルを作っていくほうが間違いが少ない。つまり作業するときには、デザインの仕事がおろそかになってしまうと意味がないので、面付けを意識しないでデザインできるほうがいい。Illustratorなら全部その上で作業ができるし、その場で思いついてマークを作ったり、考えたときにそのまま作業に移れるのがいい」。

それに…、と鈴木氏はIllustratorを使ってデザインし、マウスを動かしながら文字などを作る感覚が、じぶんにとって手で描くことや鉛筆を握っている状態に極めて近いとつけ加えた。「マウスでいじっているときに失敗したものが、意外に良かったりすることもある。こういった偶然も、手を使って直に描いているのとあまり変わらない感覚でできるからだと思う。だからIllustratorは道具として面白い、ハマりやすかった」。

Illustratorへの愛情を、手に馴染んだ道具という表現で語る同氏。宮師氏も異論はないようだ。「Illustrator 10は、アナログっぽいことができるのが面白いですね。リキッドやエンベロープはハマりそう。今後は、複数のページを扱うときなど、



clammbon「ドラマチック」
©2001 WARNER MUSIC JAPAN

アーティストとアルバムタイトルの文字をアウトライン化し、Illustratorの変形フィルタの組合せの発想によって生まれたデザイン

Illustratorにもページ対応の機能があるといいね。PhotoshopとIllustratorが合体していくと、もっといいかな(笑)。

Adobe Illustratorは印刷へのこだわり、プロダクトすることの喜びとともにある

機能の進化によって、より一層表現の可能性を広げるIllustrator。しかし同時に、デザインで最も大事なことは、じぶんが何を作りたいかだと両氏は強調する。

「今の若い世代が最初から与えられているデザイン環境と、じぶんたちがこれまでやってきた流れとは違う。だからどっちがいいとか、どっちが正しいなんてことは言えない。でも、たとえばフィルタの面白さにハマっている人は一杯いるけど、最初にフィルタありきで、デザインが始まるのではないんじゃないか。何を作りたいかが最初に自分の中にあれば、何を使って表現してもいいと思う」。「そういった意味では、デザインをするために何かをすとか、別のあるもののために何かをすという事はしない。音楽が好きだから聴くし、映画も好きだから見る。デザインもそういったことと自然につながっていると思う」。

そしてじぶんたちにおいては、Webなどの新しいテクノロジーを取り入れていくよりは、むしろこ

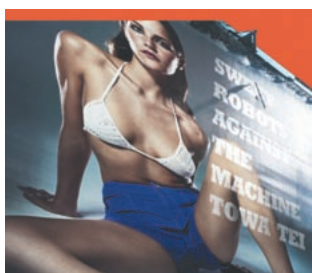
れからも手で触れられるリアルな感覚にこだわり、Illustratorを活用しながら、そういった世界でのデザイン表現を大切にしていきたいと語った。

「Webのように、プログラムを含めたデザインまでするとキリがない(笑)。それにモニタ上で成立しても、画面の上だけでは手で触れないので、やはりどこかダイナミックなことができないという限界も感じてしまう。それよりは印刷の網点が好きだし、シルク印刷のベタ塗りの質感だとか、手で触れられる物の質感が好き」。

「だから家電の『atehaca』のように、Illustratorでデザインしたロゴやサインが実際にプロダクトになって、カタログや説明書、段ボール、裏側の製品表示のシールなどの隅々まで、デザインできるほうが楽しいね。そしてじぶんが思っていた以上のものが形になって、クライアントが喜んでくれるのがいちばんうれしい」。

デザイン本来の魅力は、デザイナーの内側から出てくるパワーにこそあることを、優れたその作品を通じて強く感じさせる、タイクーングラフィックス。Illustratorという道具は、彼ら独自の感性と、その内なるパワーを表現に変えるツールとして、二人の手の延長線上に存在しているのだ。

そのこだわりのセンスとIllustratorが、今後も重要な関係を保ちつづけることは間違いない。



SWEET ROBOTS AGAINST THE MACHINE
「TOWA TEI」 ©AVEX Inc.



bird「極上ハイブリッド」
©2002 Sony Music Associated Records Inc.



PUFFY「青い涙」
©2001 Epic Records Japan Inc.

Adobe Illustratorの主な利点

- ・新しい描画ツールを使って、マウスをドラッグするだけで、簡単に直線や弧、グリッドを描くことができる
- ・生産性アップのための機能が多数備わっているため、制作作業に集中できる
- ・他のアドビ製品とシームレスに連携し、最高品質のグラフィックを印刷、出版ほかあらゆるメディアに向けて配信できる

